


特定非営利活動法人 日本免疫学会
2019 年度 後期 Tadimitsu Kishimoto International Travel Award
研究発表報告書

申請者氏名	岡野 徳壽	会員番号	0035703	
申請者の所属・職名	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科細菌感染制御学分野 博士課程 3 年			
出席会議名	7th Annual Meeting of the International Cytokine & Interferon Society			
発表論文タイトル	Hypoxia induces enhancement of inflammasome activation by <i>P. gingivalis</i> infection			

実施結果:

私は 2019 年 10 月 20 日-23 日の期間に開催された「7th Annual Meeting of the International Cytokine & Interferon Society」に参加させていただきました。会場は荘厳な雰囲気漂うウィーンのハプスブルグ王宮にて開催されました。私にとっては初の国際学会への参加ということで、日本国内とは異なる雰囲気、プレゼンターの方々の刺激的な発表やフロアからの鋭い質問に圧倒されました。参加者の方々の熱量はすさまじく、いずれのセッションも初日から盛況で、至る所で活発な議論が行われていました。特にポスターセッションは連日各ポスターに列を作って質問するなど、日本の学会ではなかなかお目にかかれない光景でした。私はポスターセッションにて、歯周炎関連細菌が引き起こす低酸素環境特異的なインフラマソーム活性化のメカニズムについて発表させていただきました。インフラマソームに関する演題は多くの方が発表されていましたが、歯周炎や低酸素環境についての発表は私以外が行っていませんでした。そのため、インフラマソームに関する深い意見から、歯周炎、低酸素に関する基礎的な質問まで幅広くコメントを頂くことができ、大変有意義な時間を設けることができました。

今回のセッションで特徴的だったのは、構造免疫学と免疫代謝学の領域の発表が増えたことです。比較的新しく開拓されてきた領域という印象だったのですが、発表内容や発想のユニークさに感心するばかりで、是非自身の研究にも取り入れたいと思わせるものばかりでした。また、学会会場で新しく免疫学を研究している友人を作ることができ、語り合うことで私自身のモチベーションに大変良い影響を与えることができました。さらに研究を進め、次の機会には口頭発表者としてまた参加したいと考えております。

最後になりますが、この度は 2019 年度後期 Tadimitsu Kishimoto International Travel Award に選出頂き誠にありがとうございました。岸本忠三先生をはじめ、選考委員の方々、本賞に御推薦頂いた鈴木敏彦教授、そして私の研究に関わる全ての方々に深くお礼申し上げます。今回の学会を通して世界トップクラスの自然免疫学を全身で感じ、大きな刺激を受けることができました。この経験を糧にさらに医学の発展に貢献すべく、研究に邁進していく所存であります。